

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
宗教学 Religion		全学科	1年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
講義	2	選択	島田 一道	
概要				
<p>この講義の目標は宗教を知ることである。世界には数多くの宗教が存在し、その形態もさまざまである。日本においてもこれまでいくつもの宗教が誕生して、他国からも伝わってきている。まずはそれらを概観していく。そして、日本人はこれまで宗教とどのように関係してきたのか、それを歴史や文化の中からうかがっていく。</p> <p>そして、現代に生きる我々がこれからどう宗教と向き合っていくのかを探っていきたい。</p>				
到達目標				
<p>(1) メジャーな宗教の簡単な概要を説明できる。</p> <p>(2) 宗教的情操を養う</p>				
授業内容とすすめ方				
<ol style="list-style-type: none"> 1 宗教とは何か 2 キリスト教 3 イスラム教 4 釈尊の生涯と仏教の誕生 5 仏教 6 仏教の伝播（インド→中国→日本） 7 仏像について 8 日本宗教史 その1（古代～） 9 日本宗教史 その2（中世～） 10 日本宗教史 その3（近世～） 11 親鸞の生涯と浄土真宗の誕生 12 浄土真宗 13 妙好人と妙好人伝 その1（編者と出版について） 14 妙好人と妙好人伝 その2（お軽さんについて） 15 まとめ 				
成績評価 方 法	授業への取り組み（関心・意欲・態度）30%、期末テスト（知識・理解）70%			
テキストおよび 参 考 文 献	『高校生からの仏教入門－釈尊から親鸞聖人へ－』小池秀章著 本願寺出版社 2009年			
メ ッ セ ー ジ な ど	皆さんにとって「宗教」とはどんなイメージですか。そして、生きていく中で「宗教」を必要だと感じますか。 様々な宗教を知ることを通してこれらの問いを共に考えていきましょう。			

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
余暇生活論 Study on Leisure Life		全学科	1年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
講義	2	選択	渡邊 哲郎	
概要				
余暇生活という窓口から人間と社会のあり方を見つめ、学習者一人ひとりが、これからの豊かなライフスタイルを創造していくことをねらいとして、余暇生活の概要、デザインを解説する。				
到達目標				
(1) 余暇生活、余暇活動について説明することができる。 (2) 各自が余暇生活を振り返り、自らの余暇生活を他者に説明できる。 (3) 余暇生活に関わる身近な問題について、自分の考えや意見を述べることができる。				
授業内容とすすめ方				
<ol style="list-style-type: none"> 1 授業ガイダンス 自己の生活を振り返る 2 余暇とは何か 3 生活行動と余暇 4 現代社会と余暇（高齢化社会・情報化社会） 5 余暇生活とレジャー・レクリエーション 6 余暇生活を診断する（1） 7 余暇生活を診断する（2） 8 余暇生活を診断する（3） 9 中間レポートの報告会 10 余暇生活を開発する（個人・グループ作業①テーマを決める） 11 余暇生活を開発する（個人・グループ作業②テーマに合わせた情報収集） 12 余暇生活を振り返る（個人・グループ作業③情報収集のまとめ） 13 余暇生活を振り返る（全体発表） 14 余暇生活能力の向上に必要なこと 15 今後の創造的な余暇生活をめざして 				
成績評価 方 法	毎回の授業感想レポート（振り返りシート）「理解・関心・意欲・態度」30% 発表・中間レポート「知識・思考・判断・技能・表現」30% 試験40%			
テキストおよび 参 考 文 献	配布資料			
メ ッ セ ー ジ な ど	豊かな余暇生活（学生生活）を送りたいと考えている学生の受講を希望する。 共に学ぶという基本姿勢のもと、充実した人生の指針を探ることを希望する。			

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
日本国憲法 The Constitution of Japan		全学科	1年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
講義	2	選択	福田 達也	
概要				
<p>私たちが暮らしている日本の国の憲法はどのような考え方・理念をもとに制定されているのか、人権尊重や民主主義の歴史的背景について理解しながら深めていきたいと思えます。「日本国憲法」と聞くと、難しいという印象を持つ人も多いかもしれませんが、質問にも随時受け付け、映像なども用いて、憲法に関わる様々な社会の問題を身近な事柄として考えてもらえる授業を目指します。</p>				
到達目標				
<p>(1) 日本国憲法の基本原理である基本的人権の尊重、国民主権、平和主義等の考え方や理念について理解を深め、自分の言葉で伝えることができる。</p> <p>(2) 憲法制定の背景、近代化の流れを理解しながら、近現代史をあらためて多角的に捉え直し、現在の社会の出来事についても興味、関心を持つことができる。</p> <p>(3) 最高法規である憲法に規定されている内容を理解していく中で、論理的に考える力、説得力ある説明ができる力、自分の言葉で表現する力を育むことができる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<ol style="list-style-type: none"> 1 日本国憲法の構成と特徴 2 大日本帝国憲法と戦前の日本 3 日本国憲法の制定 4 前文と三大原理 5 国民主権と民主主義 6 欧米近代化の歴史と人権思想 7 基本的人権①－個人の尊重・平等権－ 8 基本的人権②－自由権－ 9 基本的人権③－生存権－ 10 基本的人権④－参政権・新しい人権－ 11 平和主義－第9条解釈・平和的生存権－ 12 統治機構－三権分立－ 13 日本の裁判制度と法律家 14 裁判員制度 15 まとめ 				
成績評価 方 法	<p>毎回の授業への取り組み（関心・意欲・態度）10%</p> <p>レポート（思考力・表現力・理解）20%</p> <p>定期試験（知識・理解・論理的表現力）70%</p>			
テキストおよび 参 考 文 献	<p>テキスト：授業で参考資料を配布</p> <p>参考文献：必要に応じて紹介</p>			
メ ッ セ ー ジ な	<p>難しい言葉や歴史も一つ一つ丁寧に理解を積み重ねていくと、今まで分からなかった世界が身近になり、広がっていきます。がんばりましょう！</p> <p>幼稚園教諭二種、小学校教諭二種、中学校教諭(理科)二種：「必修」</p>			

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
行動科学 Behavioral Science		全学科	1年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
講義	2	選択	福屋 いずみ	
概要				
人の行動として現れる、パーソナリティ、社会的行動、コミュニケーションについて解説する。				
到達目標				
(1) パーソナリティ、社会的行動、コミュニケーションに関する基礎用語を説明できる。 (2) 日常生活に現れる人の行動に対する関心を高めることができる。 (3) 実験や質問紙を通して、自身の行動の背景にある心理について気づき、説明することができる。				
授業内容とすすめ方				
1 行動科学とは ー行動科学の内容について説明ー 2 行動科学の歴史 ー心理学の歴史からみた行動科学の位置づけについてー 3 パーソナリティ① ー心理学におけるパーソナリティ研究の流れについてー 4 パーソナリティ② ー類型論について説明ー 5 パーソナリティ③ ー特性論について説明ー 6 パーソナリティ④ ー深層心理学について説明ー 7 パーソナリティ⑤ ーまとめー 8 社会的行動① ー集団が個人に与える影響について説明ー 9 社会的行動② ー社会的促進と社会的抑制について説明ー 10 社会的行動③ ー同調行動について説明ー 11 社会的行動④ ー日常生活の中に認められる集団が個人に与える影響について説明ー 12 社会的行動⑤ ーまとめー 13 コミュニケーション① ー言語的コミュニケーションの役割について説明ー 14 コミュニケーション② ー非言語的コミュニケーションの役割について説明ー 15 まとめとレポート作成				
成績評価 方 法	授業への取り組み（関心・意欲・態度）30%、筆記試験（知識・理解）60%、 レポート（思考力・判断力・表現力）10%			
テキストおよび 参 考 文 献	配布資料			
メ ッ セ ー ジ な	行動科学は心理学の一領域です。毎回の授業の取り組みを重視します。表面上 現れる人の行動からその奥にあるものについて考えます。興味のある人は受講し てみてください。			

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
地学 Earth Science		全学科	1年次 2年次	平成30年度 前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
講義	2	選択	渡邊 哲郎	
概要				
<p>中学校理科の地学領域で取り扱う基本的な知識を理解し、地球を取り巻く様々な変化を統一的な視点でとらえる力を養う。</p> <p>地球のいろいろな事象を、地球誕生から現在までの時間軸上に位置づけ、物理・化学・生物領域と関連づけながら考察する力を育成する。</p>				
到達目標				
<p>(1) 地学的な事物・現象を物性・時間・空間・エネルギー概念と関係づけてとらえることができる。</p> <p>(2) 地球の形成過程（歴史）を物理的、化学的、生物的な面から推論することができる。</p> <p>(3) 身近に起きている大地の変化を過去の地球の変動と関係付けることができる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<p>1 オリエンテーション</p> <p>2 大地の成り立ちと生い立ち ①日本列島の姿</p> <p>3 大地の成り立ちと生い立ち ②平野の生い立ち</p> <p>4 震える日本列島</p> <p>5 地球を取り巻く大気と水 ①大気のとくりと性質</p> <p>6 地球を取り巻く大気と水 ②水のゆくえ</p> <p>7 世界の気候と日本の天気 ①世界の気候の特徴</p> <p>8 世界の気候と日本の天気 ②天気の変化</p> <p>9 天体の動きと地球の運動 ①星空を見よう</p> <p>10 天体の動きと地球の運動 ②地球の自転</p> <p>11 天体の動きと地球の運動 ③地球の公転と星座の動き</p> <p>12 天体の動きと地球の運動 ④月と惑星の見え方</p> <p>13 太陽系と宇宙 ①太陽系の広がり</p> <p>14 太陽系と宇宙 ②銀河の広がり</p> <p>15 まとめ</p> <p>実験観察を取り入れ、小テスト、グループ学習と発表を取り入れ、アクティブな学習を行う。</p>				
成績評価 方 法	定期試験（知識、理解）60%、受講態度（関心、意欲）40%			
テキストおよび 参 考 文 献	プリントを使用			
メ ッ セ ー ジ な ど	<p>現在の地球の姿になるまでに46億年経過した地球のさまざまな変動の歴史を実感し、将来の地球環境のあり方を考察する。</p> <p>中学校二種免許状（理科）：必須科目</p>			

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
学問と人間の探求 Study on Academics and Human Beings		全学科	1年次	通年
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	2	必修	佐藤 嘉倫	
概要				
<p>建学の精神（「至心」を持って事に当たる）に則った学問の仕方、「学問をする」ということを軸にした学生生活の送り方、将来の進路の設定等について考える。併せて、人間としての存在のありよう、将来の自分を見通しながら、自分をどのように育てていくのかということも考察する機会とする。</p> <p>また、急激に変化する社会の中で、「豊かに生活していく」ということを大切にしながら生きていくためには、新しい様々な教養を身につけながら生きていくことが求められる。</p> <p>そのようなことを踏まえ、「考え抜く」、「学修」、「生活」、「創る」、「働く」、「ワークルール」などの言葉をキーワードに、「共に生きる」、「共に育つ」時代の基本的な教養を考えていく。</p>				
到達目標				
<p>(1) 学修する力を身につける「容」を創ることができる。</p> <p>(2) 「学修」、「生活」、「創る」等をキーワードに「豊かな生活」ということを探求することができる。</p> <p>(3) 自分の人生をイメージしつつ、将来の課題を多面的に考えることができる。</p>				
授業内容とすすめ方				
【前期】 1 前期授業オリエンテーション 2 「学び方」を学ぶ 3 「現代社会の中で、豊かに育つための学び」とは 4 「建学の精神」について 5 「豊かに生きる」を考える情報の一つとしての建学の精神 6 「交通安全について」防府警察署 7 交流を通して「他国を知る」 8 自分自身の問題としての「環境問題」Ⅰ 9 「裁判所の役割、裁判員制度」 10 「変化する地球」を考える。 11 自分自身の問題としての「環境問題」Ⅱ 12 「エネルギー問題」についてグループで考える。 13 各グループで「エネルギー問題」を発表する。 14 自分の考えを言語でまとめる～レポートの書き方～ 15 前期の振り返りとレポート		【後期】 1 後期授業オリエンテーション 2 生活者として現代を生きる①－問題提起－ 3 生活者として現代を生きる②－具体的考察－ 4 「自分の生活を創る」ための基礎 5 「自分の生活を創る」を具体例から考える 6 「働く」ということ「生活」 7 「ブラック企業」からみる現代社会の問題点 8 「ワークルール」の基礎知識 9 「ワークルール」を歴史的に考える 10 「働く」ということの意味を考える 11 日常生活にある「闇」（DVの実態） 12 DVを「学修する」ことで「豊かな生活を創る」 13 「共に生きる」、「共に育つ」ということ 14 「豊かな生活」と「美術」 15 自分の「学び」の課題を見つける（レポート）		
成績評価 方 法	授業感想レポート（関心・意欲・態度・理解）40%、 前・後期レポート（理解・思考・判断・表現）60%			
テキストおよび 参 考 文 献	【参考文献】 NHK「無縁社会プロジェクト」取材班『無縁社会』文藝春秋、中村攻著『心豊かなくらしのデザイン』新日本出版社、徳永俊明著『「生活」とは何か』合同フォレスト			
メ ッ セ ー ジ な ど	<p>大学で学ぶということは、単に知識を覚えるだけではなく、新しい知識を知り、それを深く理解し、それらを「駆使する」ことで自分の言動が豊かになり、自分の世界が広がり、そして、「自分の生活が豊かになる」という、学び本来のあり方を感じ・考えながら、「学習」から「学修」への移行をしていってほしい。</p>			

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
国際交流 International Activities		全学科	2年次	通年
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	2	必修	柴田 道信・呉 靱	
概要				
<p>多文化・異文化に関する基礎的な知識を修得するとともに、文化的背景の異なる人々と交流を図る上で必要となる基礎的な力を養う。また、実践的に異文化理解を深めることを目的に海外研修を実施する。</p>				
到達目標				
<p>(1) 文化的な多様性を認識し、文化的背景の異なる人々と適切な態度で交流できる。 (2) 自国文化と他国文化を相対させ、異文化理解の視点でそれらを客観的に分析することができる。</p>				
授業内容とすすめ方				
【前期】担当：柴田 1 オリエンテーション 2 海外研修について 3 国際交流と異文化理解 4 グループワークについて 5 グループワーク（1）文化とは 6 グループワーク（2）日本文化 7 グループワーク（3）日本事情 8 グループワーク（4）コミュニケーション 9 グループワーク（5）価値観 10 まとめ		【後期】担当：柴田 1 1 オリエンテーション 1 2 外国調査（1）基礎情報 1 3 外国調査（2）文化、習慣、国内事情 1 4 海外研修と異文化理解 1 5 国際交流のまとめ ※上記15コマの授業の他に、海外研修（15コマ）を実施する。海外研修に参加できない学生には、異文化理解講座（担当：呉）の受講とレポート課題を課す。		
成績評価 方 法	授業への取り組み（意欲・関心・態度、知識・理解、思考・判断・表現）60%、レポート（知識・理解、思考・判断・表現）40%			
テキストおよび 参 考 文 献	適宜プリントを配布			
メ ッ セ ー ジ な	学生時代に海外を訪れ、異文化を体験するということは、何事にも代え難い経験であり、その後の人生の大きな糧となります。皆さんが海外研修に参加されることを期待しています。			

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
言葉とコミュニケーション Language and Communication		全学科 (一般学生対象)	1年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
講義	2	選択	小河原 香代子	
概要				
英語でコミュニケーションを図る際に大切なことは何だろうか？英語と日本語の言語文化の違いから日本人が陥りやすい問題点に焦点を当て、会話を円滑に続けられる能力を身につけるためのストラテジー（方略）について学ぶ。				
到達目標				
(1) 英語と日本語の言語表現のストラテジーの違いについて説明できる。 (2) 言語文化の違いについて問題意識を高めることができる。 (3) 英語コミュニケーション方略について主体的に考え、場面や状況に応じて実践することができる。				
授業内容とすすめ方				
<ol style="list-style-type: none"> 1 インTRODクシヨン、困っている人に話しかける 2 初対面の人と会話を続ける 3 ポジティブ/ネガティブな意見を述べる 4 体調を伝える 5 注意する 6 提案する 7 スケジュールを調整する 8 依頼を断る 9 解決策を提案する／共同作業する 10 お願いする 11 アドバイスをする 12 発言を聞き返す 13 相手を励ます 14 誤解を解く／真意を伝える 15 別れの挨拶／感謝を伝える <p>* 1 レッスン 1 Unit を目安としていますので予習、復習をしっかりとて授業に臨むこと。</p>				
成績評価 方 法	期末テスト（知識・理解）40%、各 Unit の小テスト（知識・理解）20%、授業参加、 毎回の授業感想レポート（関心・意欲・態度・思考力・判断力・表現力）20%、宿題 （意欲・理解）20%			
テキストおよび 参 考 文 献	<i>MUST-HAVE ENGLISH SKILLS for GLOBAL COMMUNICATION</i>			
メ ッ セ ー ジ な ど	英語でコミュニケーションを取る際に気をつけたいことを考える：新しい発見 をしていただけたらと思います。また、英語に興味を持って、会話練習などの活 動に積極的に授業参加されることを望みます。予習、復習が必要です。			

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
言葉とコミュニケーション Language and Communication		全学科 (留学生対象)	2年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
講義	2	選択	林 伸一	
概要				
日本語でコミュニケーションを図る際に大切なことは何だろうか？母語と日本語の言語文化の違いから日本語学習者が陥りやすい問題点に焦点を当て、読解力と会話を円滑に続けられる能力を身につけるためのストラテジー（方略）について学ぶ。				
到達目標				
(1) 日本語の言語理解と表現のためのストラテジー能力を身につける。 (2) 言語文化の違いについて問題意識を高めることができる。 (3) コミュニケーション方略について主体的に考え、場面や状況に応じて実践することができる。				
授業内容とすすめ方				
1 お願いがあるんですが（頼みにくいことを丁寧に頼む・感謝の気持ちを表す）／畳 2 何のことですか（わからない言葉の意味を聞いて、どうすればいいのか確認する）／外来語 3 遅れそうなんです（事情を説明して丁寧に謝る・変更をお願いする）／時間よ、止まれ！ 4 伝言お願いできますか（伝言を頼む・受ける・留守番電話に伝言を残す）／電話嫌い 5 どう行ったらいいのでしょうか（行き方を尋ねる・教える・道順を尋ねる・教える）／地図 6 行かせていただきたいんですが（許可を得たいと申し出る）／メンタルトレーニング 7 楽しみにしています・遠慮させてください（誘いを受ける・断る）／まんじゅう、怖い 8 迷子になっちゃったんです（人や物の様子を詳しく説明する）／科学者ってどう見える？ 9 どこが違うんですか（希望や条件を伝える・比較し選択する）／カラオケ 10 そんなはずはありません（誤解されたことに冷静に反応する）／記憶型と注意型 11 お勧めのところ、ありませんか（提案する・提案を受け入れる）／白川郷の黄金伝説 12 ご迷惑をかけてすみませんでした（謝る・事情を説明する）／日本で暮らす（座談会） 13 まとめと復習（弱点補強） 1 14 まとめと復習（弱点補強） 2 15 まとめと復習（弱点補強） 3 * 1 レッスン 1 課を目安としていますので予習、復習をしっかりとして授業に臨むこと。				
成績評価 方 法	定期試験（知識・理解）50%、授業参加、毎回の授業感想レポート（関心・意欲・ 態度・思考力・判断力・表現力）30%、宿題（意欲・理解）20%			
テキストおよび 参 考 文 献	『みんなの日本語 中級 I 本冊』 『ニューアプローチ 中級日本語 基礎編（改訂版）』			
メ ッ セ ー ジ な ど	日本語と日本文化に興味を持って、会話練習などの活動に積極的に授業参加される ことを望みます。予習、復習が必要です。			

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
英語会話(level 1) English Conversation(level 1)		全学科	1年次	通年
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	2	必修	大野 厚子	
概要				
英語学習初心者を対象とする。英語の基礎から紹介していく。				
到達目標				
(1) 学習者が英語に抵抗がなくなり、慣れ親しむことができる。 (2) 会話に必要な語彙を楽しく学んで、身につけることができる。 (3) 文法を会話の中で自然に使うことができる。				
授業内容とすすめ方				
1 (Assessment 1 & Placement) 2 Family 3 Food 4 Dates & Ordinal Numbers 5 Personal Information 6 Personal Information About Others 7 Favorites 8 Likes & Dislikes 9 Counters & Singular/Plural 10 Wh-Questions 11 Can & Can't 12 Prepositions of Place 13 Sports 14 Simple Present & Describing Things 15 Family		1 Telling Time 2 Exam 1/Assessment 2 3 Jobs 4 Parts of the Body 5 Making Comparisons 6 Numbers 7 Present Progressive 8 Countries, Nationalities & languages 9 Directions Part I: Asking for and Giving Directions 10 Directions Part II: Directions Race 11 Subway Directions 12 Simple Past Tense Part I: Questions 13 Simple Past Tense Part II: Telling a Story 14 Present Perfect 15 Future: going to		
成績評価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・この授業は「聞く・話す」ことが主な学習活動で、参加型のクラスです！授業参加は成績の60%を占めます。Let's talk! ・In-class activities + homework + projects (授業内の演習+宿題+プロジェクト) = 60% ・Exams (試験) = 40% <p>If you miss a class more than 3 times per semester, you will be disqualified to take the semester exam. If you have to miss a class for an official reason or missed one due to an illness, notify your teacher.</p>			
テキストおよび 参 考 文 献	Talk a lot, Junior Senior, David Martin, EFL Press			
メ ッ セ ー ジ な ど				

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
英語会話(level 2) English Conversation(level 2)		全学科	1年次	通年
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	2	必修	Inkster Ryan	
概要				
<p>(概要) 様々な状況における実用的な英語会話能力を養成する。正確な発音や文法よりも、コミュニケーション能力の養成を重視する。読む・書く作業も若干含む。</p> <p>(目標) 自己紹介、人物や服装の描写ができる、事物の比較ができる、好みについて表現できる、能力について述べられる、自由時間の使い方・好き嫌いについて表現できる、道順を教えたり理解したりできる、過去の出来事について話せる、指示を与えたり、規則について話したり、助言を与えたりできる。</p>				
到達目標				
<p>(1) 英会話に役に立つ語彙や文法を学ぶ。</p> <p>(2) 英語を聞く力を養う。</p> <p>(3) さまざまなトピックで英会話を練習する。</p>				
授業内容とすすめ方				
【前期】 1 (Assessment & Placement) 2 Japanese Sports and clubs (スポーツ) 3 Japanese Sports and clubs (スポーツ) 4 Japanese Music (音楽) 5 Japanese Music (音楽) 6 Japanese Food (食べ物) 7 Japanese Food (食べ物) 8 Japanese Holidays (祝日) 9 Japanese Holidays (祝日) 10 Japanese Games 11 Japanese Games 12 Famous Cities (観光) 13 Famous Places (観光) 14 REVIEW (復習) 15 REVIEW (復習) TEST (試験)		【後期】 1 Relaxation (趣味) 2 Relaxation (趣味) 3 Famous Japanese People (有名人) 4 Famous Japanese People (有名人) 5 Japanese Superstitions (迷信) 6 Japanese Superstitions (迷信) 7 Japanese Animations (アニメ、マンガ) 8 Japanese Animations (アニメ、マンガ) 9 Japanese Arts and Theater (芸術や劇場) 10 Japanese Arts and Theater (芸術や劇場) 11 Japanese Etiquette (エチケットマナー) 12 Japanese Etiquette (エチケットマナー) 13 Famous Buildings (有名な建物) 14 REVIEW (復習) 15 REVIEW (復習) TEST (試験)		
成績評価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・この授業は「聞く・話す」ことが主な学習活動で、参加型のクラスです！授業参加は成績の60%を占めます。Let's talk! ・In-class activities + homework + projects (授業内の演習+宿題+プロジェクト) = 60% ・Exams (試験) = 40% <p>If you miss a class more than 3 times per semester, you will be disqualified to take the semester exam. If you have to miss a class for an official reason or missed one due to an illness, notify your teacher.</p>			
テキストおよび 参 考 文 献	<p>Explain It: Talking about Japanese Culture in English. Robert Long. Perceptia Press, Nagoya. ISBN: 9784939130793</p>			
メッセー ジ な ど				

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
英語会話(level 3) English Conversation(level 3)		全学科	1年次	通年
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	2	必修	倉増 泰弘	
概要				
<p>(概要) 2020年東京オリンピック・パラリンピックを目前に控え、海外に出るだけでなく海外から人々を迎え入れる準備をしなければならない。本科目では、海外から来る人々をどのように「もてなす」か、実践的なコミュニケーション活動を通して様々な語彙や表現を学びながら、コミュニケーション能力の養成を目指す。なお、聞く・話すだけでなく、読む・書く活動もコミュニケーションの一部として扱う。</p> <p>(目標) 航空産業、テーマパーク産業、ホテル産業において使用されている語彙や表現を使用できる、顧客から求められる様々な要望に対し対応できる、様々なシチュエーションで行われる会話や読み物の内容を理解できる。</p>				
到達目標				
<p>(1) 様々な産業で使用される語彙や表現を理解し、使用できる。</p> <p>(2) 英語を読む力を向上させることができる。</p> <p>(3) 人を「おもてなす」際に使用する表現を使用できる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<p>【前期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction 2. Unit 1 接客とコミュニケーション① 3. Unit 1 接客とコミュニケーション② 4. Unit 2 機内サービス① 5. Unit 2 機内サービス② 6. Unit 3 LCCとFSC① 7. Unit 3 LCCとFSC②、前半の振り返り 8. 中間テスト 9. Unit 4 面接重視の航空業界① 10. Unit 4 面接重視の航空業界② 11. Unit 5 チケット販売① 12. Unit 5 チケット販売② 13. Unit 6 アトラクション① 14. Unit 6 アトラクション② 15. 後半の振り返り、期末テスト 		<p>【後期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Review 2. Unit 7 トラブル発生① 3. Unit 7 トラブル発生② 4. Unit 8 業界の先輩メッセージ① 5. Unit 8 業界の先輩メッセージ② 6. Unit 9 ホテル業務内容① 7. Unit 9 ホテル業務内容②、前半の振り返り 8. 中間テスト 9. Unit 10 料飲部門(F&B)① 10. Unit 10 料飲部門(F&B)② 11. Unit 11 トラブル発生① 12. Unit 11 トラブル発生② 13. Unit 12 ホテル業界就職活動編① 14. Unit 12 ホテル業界就職活動編② 15. 後半の振り返り、期末テスト 		
成績評価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・この授業は「聞く・話す」ことが主な学習活動で、参加型のクラスです。授業参加は成績の60%を占めます。また、授業参加には小テストも含まれます。 ・In-class activities + homework + presentation (授業内の演習+宿題+発表) = 60 % ・Exams (試験) = 40% 			
テキストおよび 参 考 文 献	Hospitality Communication 仁科恭徳 他 三修社			
メ ッ セ ー ジ な ど	楽しい授業を心がけたいと思いますので、学生の皆様のご協力をお願いします！			

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
ハンゲル Korean Language		全学科	1年次	通年
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	2	選択	朴賢珠	
概要				
ハンゲルの文字や基礎文法を学びながら日韓の文化について考えるようになる。韓国人留学生と一緒に勉強することで異文化コミュニケーションを図る授業になる。				
到達目標				
(1) ハンゲル文字の書き方や読み方を学び、簡単な韓国語の単語が読めるようになる。 (2) 韓国人留学生との交流を通して日韓の文化理解を深める。 (3) ハンゲル基礎文法を学び、簡単な韓国語会話ができる。				
授業内容とすすめ方				
【前期】 1 ハンゲルの仕組み① -文字の組み合わせパターン- 2 ハンゲルの仕組み② -基本母音- 3 ハンゲルの仕組み③ -基本子音- 4 ハンゲルの仕組み④ -濃音- 5 ハンゲルの仕組み⑤ -複合母音- 6 ハンゲルの仕組み⑥ -パッチム (1) - 7 ハンゲルの仕組み⑦ -パッチム (2) - 8 日本語のハンゲル表記 9 ハンゲルの仕組みのまとめ 10 中間テスト 11 視聴覚教育・映画観賞① -前半- 12 視聴覚教育・映画観賞② -後半- 13 「名詞+です」文の作り方 14 「名詞+ですか」文の作り方 15 まとめ		【後期】 1 前期の復習① -1回目- 2 前期の復習② -2回目- 3 動詞・形容詞の ていねい形① -です/ます形- 4 ていねい形② -ですか/ますか形- 5 視聴覚教育 6 助詞のまとめ 7 中間テスト 8 指示代名詞を使った表現 9 人称代名詞を使った表現 10 「イダ」否定形 11 動詞・形容詞の前置否定形 12 動詞・形容詞の後置否定形 13 否定形のまとめ 14 尊敬形 15 まとめ		
成績評価 方 法	定期試験(知識・理解) 60%、小テスト・発表(知識・理解) 20%、 課題・レポート(思考力・表現力) 20%			
テキストおよび 参 考 文 献	朴賢珠 他「サランヘヨ!ハンゲルー初級から中級へー」白帝社、2015年			
メ ッ セ ー ジ な ど	山口は韓国と深いつながりがある場所です。 韓国語を学び韓国に出かけてみましょう。			

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
日本語 Japanese Language		全学科 (留学生対象)	1年次	通年
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	2	選択	鈴木 隆子	
概要				
① 基本的な日常会話の力、コミュニケーション能力を身につける。 ② 日本語の特色を理解する。 ③ 自国と日本の生活習慣・ものの考え方・風習・文化の違いを知ることによって、自国と日本の関係への理解を深める。 ④ 日本語能力試験等の資格を取得する。				
到達目標				
(1) 基本文型を理解し、留学生生活を支える基礎的な日常会話ができる。 (2) カタカナ・ひらがな・漢字をマスターし、課題についてレポートを書くことができる。 (3) 敬語・オノマトペ・慣用語など日本語の特色を理解し、使うことができる。 (4) 日本語能力試験等の資格試験にチャレンジし、資格を取得する。				
授業内容とすすめ方				
【前期】 1 オリエンテーション 2 日常会話の基礎①ー自己紹介、あいさつ、日常生活の基本的な会話ー 3 日常会話の基礎②ー日常生活の基本的な言葉ー 4 日本語の文字ーひらかな、カタカナ、漢字、五十音図ー 5 日本語の発音 6 日常会話の基本単語①ー基本単語を正しい発音で覚えるⅠー 7 日常会話の基本単語②ー基本単語を正しい発音で覚えるⅡー 8 日常会話の基本文形①ー5W1Hー 9 日常会話の基本文形②ー動詞の活用のかたー 10 日常会話の基本文形③ー過去、現在、未来の言い方ー 11 日常会話の基本文形④ー希望・意思・推量の言い方ー 12 日常会話の基本文形⑤ー否定(動詞、形容詞の否定)ー 13 日常会話の基本文形⑥ー使役・可能、受身、自発、経験の言い方ー 14 日本語の特色①ー補助用語ー 15 日本語の特色②ー複合語ー		【後期】 1 日常会話の基本文型の復習 2 日本の「国語」教科書①ー教科書音読ー 3 日本語能力試験への対応①ー語彙・文字ー 4 日本語能力試験への対応②ー聴解ー 5 日本語能力試験への対応③ー読解、文法ー 6 日本語の特色①ー敬語ー 7 日本語の特色②ー慣用語、ことわざー 8 日本語の特色③ー同音異義語ー 9 日本語の特色④ー漢字の部首ー 10 日本語の特色⑤ーオノマトペー 11 日本語の特色⑥ー方言と共通語ー 12 日本語によるスピーチ① 13 日本語によるスピーチ② 14 日本の国語教科書②ー教科書音読ー 15 日本の国語教科書③ー発表ー		
成績評価方法	授業への取り組み(意欲・関心・態度) 50%、定期試験(知識・理解) 20%、スピーチ(表現・技能) 30%			
テキストおよび参考文献	テキスト: プリントをその都度配布			
メッセージ	日本での生活を充実したものにするためには日本語の習得がなにより大事です。日常会話力をつける中で、日本の文化や風習、日本人の国民性などへの理解を深め、国際交流を楽しんでほしいと願っています。			

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
健康科学 Health Science		全学科	1年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
講義	1	必修	上地 広昭	
概要				
<p>運動、睡眠、および食事などの健康行動が生活習慣病に及ぼす影響を説明し、健康行動変容に関する理論・モデルを紹介する。また、健康増進のためのプログラム作りなども行い理解を深める。</p>				
到達目標				
<p>(1) 生活習慣病予防に果たす健康行動の役割を説明できる。 (2) 健康行動変容に関する理論・モデルを説明できる。 (3) 健康行動に関する理論を健康指導や健康増進プログラム作りに応用できる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<ol style="list-style-type: none"> 1 イントロダクション（健康に関する用語の整理） わが国における健康行動実施状況 2 健康行動と疾病予防①（運動・睡眠） 健康行動と疾病予防②（食行動） 3 運動行動とメンタルヘルスの関係 運動による心理的効果の最大化 4 若年女性におけるダイエット行動と健康 健康的なダイエットの実践方法 5 健康行動変容の理論と実際①（変容ステージ・意志決定バランス） 健康行動変容の理論と実際②（セルフエフィカシー・変容プロセス） 6 健康行動変容の理論と実際③（内発的動機づけ） 健康行動変容の理論と実際④（外発的動機づけ） 7 行動変容の理論と実際⑤（ソーシャルマーケティング） 健康行動変容プログラムの作成 8 まとめ 				
成績評価 方 法	<p>定期試験 80%（知識・関心・意欲）、受講態度 20%（関心・意欲） 定期試験欠格条件：欠席 3 回以上。</p>			
テキストおよび 参 考 文 献	<p>テキストの購入は必要ない</p>			
メ ッ セ ー ジ な ど	<p>生涯を通して健康管理を行うための知識を身につけてもらいたい。</p>			

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別																																																																
スポーツ教育 Sport Education		全学科	1年次	前期																																																																
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員																																																																	
実技	1	必修	舟場 大資・子安 崇夫・手島 史子																																																																	
概要																																																																				
<p>現代社会は生涯を通じてスポーツに参加することが国民の教養の一つになっている。しかし、今日のスポーツ状況は様々に多様化しているし、国民のスポーツニーズも多様化している。</p> <p>そのような状況をふまえて山口短大では、以下のような2つのコースを設定し、1年次にその中から1つを選ぶ選択性の授業を実施している。また、夏季野外活動（キャンプ）コースを選択すれば、日本キャンプ協会のキャンプ・インストラクターの資格が取得できる。なお、重複履修も可能である。</p>																																																																				
到達目標																																																																				
<p>(1) 積極的にスポーツを楽しむことができる。</p> <p>(2) 生涯を通じてスポーツを楽しむことのできる基本的知識を理解できる。</p> <p>(3) スポーツの基礎的な技能ができる。</p>																																																																				
授業内容とすすめ方																																																																				
<p>以下の2つのコースから選択する。</p> <p>(1) スポーツコーチングコース [バレーボール]</p> <p>スポーツの指導を行うために必要な内容・方法を、実技を行いながら習得する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション（スポーツ教育のねらい）</td> <td>9</td> <td>アタックを意識したゲーム</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>グループづくり</td> <td>10</td> <td>セッターの動きを軸にしたゲーム</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>バレーボールのルール及び基礎技能練習</td> <td>11</td> <td>攻撃リズムを意識したゲーム</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>レシーブ・トス・アタックの練習</td> <td>12</td> <td>コンビネーションの動き重視のゲーム</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>セッターとアタッカーの関係を重視した練習</td> <td>13</td> <td>スパイク率向上を意識したゲーム</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>アタックのタイミングを意識した練習</td> <td>14</td> <td>まとめ：リーグ戦①</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>試しのゲーム（リズムの確認）</td> <td>15</td> <td>まとめ：リーグ戦②（勝率に応じたゲームの展開）</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>ゲーム分析及びゲーム</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) 夏季野外活動（キャンプ）コース</p> <p>将来、家族や知人等と自然に親しみながら野外活動を楽しむために必要な基礎的知識、基礎的技術を習得する。8月下旬に集中授業で実施する。</p> <p>夏季野外活動（キャンプ）コース</p> <table border="0"> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション（野外活動のねらい）</td> <td>9</td> <td>野外炊飯の理論</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>グループ編集・係決め</td> <td>10</td> <td>オリエンテーリングの理論</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>携帯コンロの使い方</td> <td>11</td> <td>登山の理論と装備</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ダッチオーブンの使い方</td> <td>12</td> <td>登山の実践</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>キャンプの安全性についての理論</td> <td>13</td> <td>キャンドルサービスの理論</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>野外活動の基本および山の歩き方</td> <td>14</td> <td>キャンドルサービスの実践</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>キャンプの歴史</td> <td>15</td> <td>撤収とまとめ</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>タープの設営</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					1	オリエンテーション（スポーツ教育のねらい）	9	アタックを意識したゲーム	2	グループづくり	10	セッターの動きを軸にしたゲーム	3	バレーボールのルール及び基礎技能練習	11	攻撃リズムを意識したゲーム	4	レシーブ・トス・アタックの練習	12	コンビネーションの動き重視のゲーム	5	セッターとアタッカーの関係を重視した練習	13	スパイク率向上を意識したゲーム	6	アタックのタイミングを意識した練習	14	まとめ：リーグ戦①	7	試しのゲーム（リズムの確認）	15	まとめ：リーグ戦②（勝率に応じたゲームの展開）	8	ゲーム分析及びゲーム			1	オリエンテーション（野外活動のねらい）	9	野外炊飯の理論	2	グループ編集・係決め	10	オリエンテーリングの理論	3	携帯コンロの使い方	11	登山の理論と装備	4	ダッチオーブンの使い方	12	登山の実践	5	キャンプの安全性についての理論	13	キャンドルサービスの理論	6	野外活動の基本および山の歩き方	14	キャンドルサービスの実践	7	キャンプの歴史	15	撤収とまとめ	8	タープの設営		
1	オリエンテーション（スポーツ教育のねらい）	9	アタックを意識したゲーム																																																																	
2	グループづくり	10	セッターの動きを軸にしたゲーム																																																																	
3	バレーボールのルール及び基礎技能練習	11	攻撃リズムを意識したゲーム																																																																	
4	レシーブ・トス・アタックの練習	12	コンビネーションの動き重視のゲーム																																																																	
5	セッターとアタッカーの関係を重視した練習	13	スパイク率向上を意識したゲーム																																																																	
6	アタックのタイミングを意識した練習	14	まとめ：リーグ戦①																																																																	
7	試しのゲーム（リズムの確認）	15	まとめ：リーグ戦②（勝率に応じたゲームの展開）																																																																	
8	ゲーム分析及びゲーム																																																																			
1	オリエンテーション（野外活動のねらい）	9	野外炊飯の理論																																																																	
2	グループ編集・係決め	10	オリエンテーリングの理論																																																																	
3	携帯コンロの使い方	11	登山の理論と装備																																																																	
4	ダッチオーブンの使い方	12	登山の実践																																																																	
5	キャンプの安全性についての理論	13	キャンドルサービスの理論																																																																	
6	野外活動の基本および山の歩き方	14	キャンドルサービスの実践																																																																	
7	キャンプの歴史	15	撤収とまとめ																																																																	
8	タープの設営																																																																			
成績評価 方 法	<p>技能の習得と理解（関心・意欲・態度）80%、実技テスト（技術）10%、最終レポート（関心・知識）10%</p>																																																																			
テキストおよび 参 考 文 献	<p>夏季野外活動（キャンプ）コース：日本キャンプ協会「キャンプ専門科目」</p> <p>スポーツコーチングコース：基本的に各授業開始時にプリントを配布する。</p>																																																																			
メ ッ セ ー ジ な ど	<p>自分たち自らスポーツを楽しむために必要な言動を意識的に身につけるように努力してほしい。</p>																																																																			